

第2回景観まちづくり講座を開催しました。

去る、12月10日(土)に練馬区本庁舎20階交流会場で、第2回景観まちづくり講座を開催しました。

練馬区が地域景観資源登録制度(※)を開始してから5年が経過し、この間に1200件以上の応募を頂き、914件が登録されました。普段何気なく見ているまちなみから、魅力ある暮らしの風景を、4つの部門(風景、まちかど、みどり、たてもの)から応募して頂き、選定委員会を経て、「とっておきの風景」として登録をしています。

今年度の景観まちづくり講座では、これらの地域景観資源を、練馬区の景観まちづくりへ、今後、どう活用していくかについて、区民の方や専門家の方のご意見を頂きました。

※地域景観資源登録制度とは

地域の人々に親しまれ、今後も大切にしていきたい身近な景観資源を「とっておきの風景」として区が登録し、ホームページを通してその魅力をご紹介します。

第1回 2016年9月7日(水) 19:00~21:00

### 「生活景って何ですか? ~暮らしの風景発見術」

練馬区地域景観資源登録制度「とっておきの風景」の現状について  
地域景観資源登録制度の紹介

基調講演

パネルディスカッション



第2回 2016年12月10日(土) 14:00~16:00

### 「生活景からまちづくりへ ~暮らしの風景活用術」

練馬区地域景観資源登録制度「とっておきの風景」の活用について  
「とっておきの風景」の活用方策の提案

トークセッション



事務局から練馬区地域景観資源登録制度「とっておきの風景」の活用について、以下の4つについて提案をしました。

#### 事務局からの提案 まちづくりセンター

##### □とっておきの風景の個性を際立たせる

「とっておきの風景」に興味をもってもらい、練馬のまちを歩きたくなるような仕掛けづくりをする。

例えば…「練馬らしい」セレクションをHPで投票してもらう。

「夏を感じる畑の風景」「涼しさを感じる湧水のある風景」 など

##### □とっておきの風景の維持と人材育成

「とっておきの風景」のファン募り、景観の担い手づくり勉強会を開催する。勉強会では、「所有者の意識を高める・維持方法を知る」ことや「景観まちづくりサポーター育成」を行い、これらの活動を景観まちづくりホームページで紹介・公開していく。

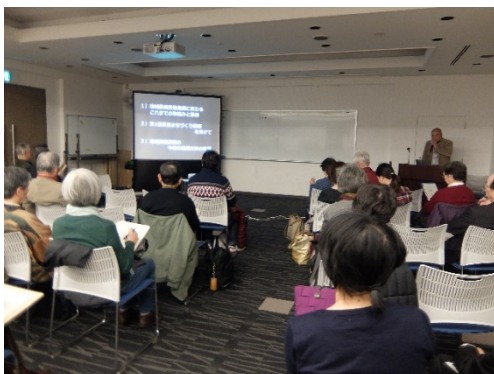
##### □地域の記憶を伝える（とっておきの風景のアーカイブズ）

やむを得ず登録解除になった景観資源も、ホームページ上に「過去にあった景観」としてアーカイブズ化することで、これからのまちづくりの手がかりにしたり、景観形成の参考資料に活用することができる。

##### □景観資源を核とした景観まちづくり

これまでの取り組みのストックを活かし、より豊かな練馬の景観を創出するために、景観計画の目標である「景観資源を拠点とした景観まちづくり」のモデルとなる取組みを支援したい。

（景観まちなみ協定の運用の見直し等）



トークセッションでは、この提案を受けて、それぞれの立場からご意見を頂きました。

#### トークセッション ゲスト

中島 伸 氏（東京大学大学院工学研究科 助教）

久間 常生 氏（建築家・久間建築設計事務所 主宰）

吉田 哲氏（練馬区 都市整備部 都市計画課課長）

コーディネーター：まちづくりセンター



トークセッションの主な意見として次のようなことが出ました。

#### □とおきの風景の個性を際立たせる

- ・ 個々にスポットが当たるような取組みとして、例えば、期間を設定して季節や時間、場面など様々な切り口でアピールをしていく方法があり、ホームページを活用する方法がよいと思う。

#### □とおきの風景の維持と人材育成

- ・ まちづくりの担い手で今後期待できる層は、3つあると思う。高齢者、子育て世代のお母さん、地域の学生。
- ・ ちょっとやってみようという方を増やして裾野を広げることがいいのかなと思う。
- ・ 課題解決に向けた、楽しいストーリーを考えて様々な人を巻き込むことも大事だと思う。

#### □地域の記憶を伝える

- ・ 何気ない風景が多いため、残すのは難しいと思う。そのため、「本当に大切なもの」って何だろうということを考える機会としたり、ホームページの投票制度を使うことがよいと思う。
- ・ 「受け継ぎたいところ」や「継承したい気持ち」が分かるアーカイブズになるとよいと思う。

#### □景観資源を核とした景観まちづくり

- ・ 今の「練馬らしさ」をいかした景観まちづくりを行政内部の連携をしながらすすめる。
- ・ 今後、都市化が進む中で、新たにつくるものはどう作っていくかを考えることが大事である。

- ・地域の誇りやアイデンティティづくりが景観まちづくりの中でも大事である。

#### □その他の提案

- ・福祉の視点から景観資源を考えると、違うものが出てくるかもしれない。(会場から)
- ・ヨーロッパでは、オープンガーデンのコンクールを実施し、3位までは、固定資産税の免除をしている。(会場から)
- ・都道整備については、できるだけ区民と近い立場の区と一緒に協力していくことがよいと思う。

別紙1：第2回景観まちづくり講座 トークセッション詳細.pdf

別紙2：第2回景観まちづくり講座 アンケート結果.pdf